

9/29 月日

# 関電会長「06年から金品」

## 元助役から 便宜供与は否定

関西電力の役員ら20人が2011年からの7年間に高浜原発がある福井県高浜町の森山栄治元助役（故人）から計約3億2千万円分の金品を受け取っていた問題で、八木誠会長がそれ以前の06年から金品を受け取っていたことがわかった。28日、朝日新聞の取材に認めた。10年までの4年間にわたって複数回金品を受け取り、金沢国税局の調査が入るまで自宅で保管し

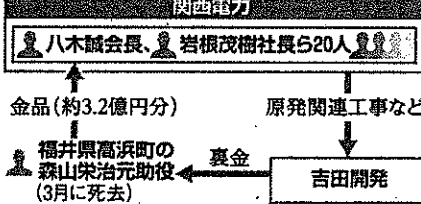


八木誠会長

ていたという。関電は27日の記者会見で、11年以降に金品が渡っていたことは認めていたが、それ以前については明らかにしていなかった。森山氏に資金を提供していたのは、土木建築会社「吉田

開発」（高浜町）。金品は、八木会長のほか岩根茂樹社長らに渡っていた。八木氏は06年6月には、関電の原子力事業本部（同県美浜町）の本部長代理に就いた。09年6月に原子力事業を統括する本部長（副社長）に就任していた。翌年に社長になったが、「社長就任後は、（森山氏とは）一度も面会しておらず、金品も受け取っていない」と説明した。

### 金品提供や工事受注の流れ



八木氏によると、関電原子力事業本部では以前から森山氏を関電の勉強会の講師として招き、「社内では『先生』と呼んでいた」と説明。勉強会の際には県職員も同席していたという。森山氏は八木氏に対しお中元、お歳暮のほか、年に1、2回、面会のたびに金

品を提供。八木氏は「常識を超えるような金品だった」と話し、「受け取りを断ると、激高された」と説明。金品は社内に置かず、大阪府内の自宅で保管していたという。八木氏は「原子力を動かすには地元の協力が欠かせない。先生は地元で大変な有力者で、（金品を）とても返せるような状況でなかった」とした。一方、森山氏と関係がある会社への「便宜供与は一切ない」と否定した。

### 関電、社内報告書の公表検討

関電は社内の調査委員会がまとめた報告書を公表する検討に入った。岩根社長は27日の記者会見で公表に否定的だったが、説明不足

役員らが受け取った金品について、八木氏は、関電が近く記者会見を再度開いて、社内調査の結果を説明する方針を示した。八木氏は10、16年に社長を務めた。11年に東京電力福島第一原発事故を受けて急きょ電気事業連合会の会長に就任し、業界トップとして原発の事故対応や政治との調整などにあたった。16年に関電会長となり、現在、関西経済連合会の副会長などの役職にも就いている。（釜本英樹）

との批判を受け、方針を修正する。関電幹部が28日、明らかにした。報告書は、社外の弁護士らでつくる調査委員

会が昨年7、8月に調べてまとめたものだ。誰がいかなどが書かれているとみられる。ただ、個人情報などが含まれるので、どの範囲まで公表するかは検討中という。関電はまた、経済産業省

から電気事業法に基づく報告をするように指示を受け、今回のケースのほかに金品を受けとっていないか、再調査を始める。結果しだいでは、経産省が再発防止策を求める業務改善命令などを出せる。（釜本有加、生田大介）